岡山市PTA教育フォーラム　開催要項

1. 趣　　旨　家庭の関わり、学校の関わり、地域の関わりを明確にさせながら理解と認識を深め共に子育てを図る。

2. 主　　催　岡山市PTA協議会
　　後　　援　岡山市教育委員会

3. 参 加 者　岡山市内の幼稚園・小学校・中学校のPTA会員及び教育関係者

4. 日　　時　平成26年11月15日(土)13:15～15:30

5. 会　　場　岡山県総合福祉会館大ホール

6. 日　　程　― 受 付 ―　(12:30～13:15)

（敬称略）

＊司　会　　岡山市PTA協議会　　御船　宗一郎
（教育問題委員会委員長）

(1)開会行事　(13:15～13:30)

＊挨　拶　　岡山市PTA協議会会長　　赤木　康二
岡山市教育委員会教育次長　　植田　朋哉

(2)教育フォーラム　(13:30～15:30)

○講　話　　(13:30～14:20)
『演題』　「青少年にかかわる現状と対策」
『講師』　小林　英一　(こばやし　ひでかず)
（岡山県青少年総合相談センター所長）

○パネルディスカッション(14:20～15:30)
コーディネーター
・岡山市PTA協議会　教育問題委員長　　御船　宗一郎(足守中)
パネリスト
・岡山県青少年総合相談センター所長　　小林　英一
・岡山市中学校校長会副会長　　小野　恭弘(御南中)
・岡山市PTA協議会会長　　赤木　康二(桑田中)

(3)閉会行事　(15:30)

＊挨　拶　　岡山市PTA協議会
（教育問題委員会副委員長）　　熊野　博文(幡多小)

H26.11.15

岡山市PTA協議会教育フォーラム

青少年にかかわる現状と対策

岡山県青少年総合相談センター
所長　小林英一

1　はじめに

2　相談センターの視点から

＜平成２５年度の相談状況＞

① 相談件数

② 相談者

③ 相談内容

④ 相談者別相談内容（総合相談窓口）

＜青少年問題アドバイザーによる相談状況＞

① 相談者

② 相談対象者

③ 相談内容

④ 相談対象者の連携先

3　少年非行の実態と理解

＜平成２５年の実態＞

① 刑法犯少年の多い都道府県

② 刑法犯少年の非行率の推移

③ 刑法犯少年の罪種別

④ 窃盗犯の内容

⑤ 窃盗犯の学識別

4　「子育て」で大切にしたいこと

① 家庭で気をつけたいこと

② 子どもの行動を三つに分ける

③ 体験の大切さ

5　学校力の向上について

① 教師力

② 児童・生徒力

③ 地域力

④ 環境力

⑤ 情報発信力

⑥ 危機管理力

岡山市PTA協議会教育フォーラム（H26.11.15）

青少年にかかわる現状と対策

岡山県青少年総合相談センター

所長　小 林 英 一

1　はじめに

批判ばかりされた子どもは　非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは　力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは　ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは　鈍い良心のもちぬしとなる

しかし

激励をうけた子どもは　自信をおぼえる
寛容にであった子どもは　忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは　評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは　公正をおぼえる
友情を知る子どもは　親切をおぼえる
安心を経験した子どもは　信頼をおぼえる
可愛がられ　抱きしめられた子どもは　世界中の愛情を感じとることをおぼえる

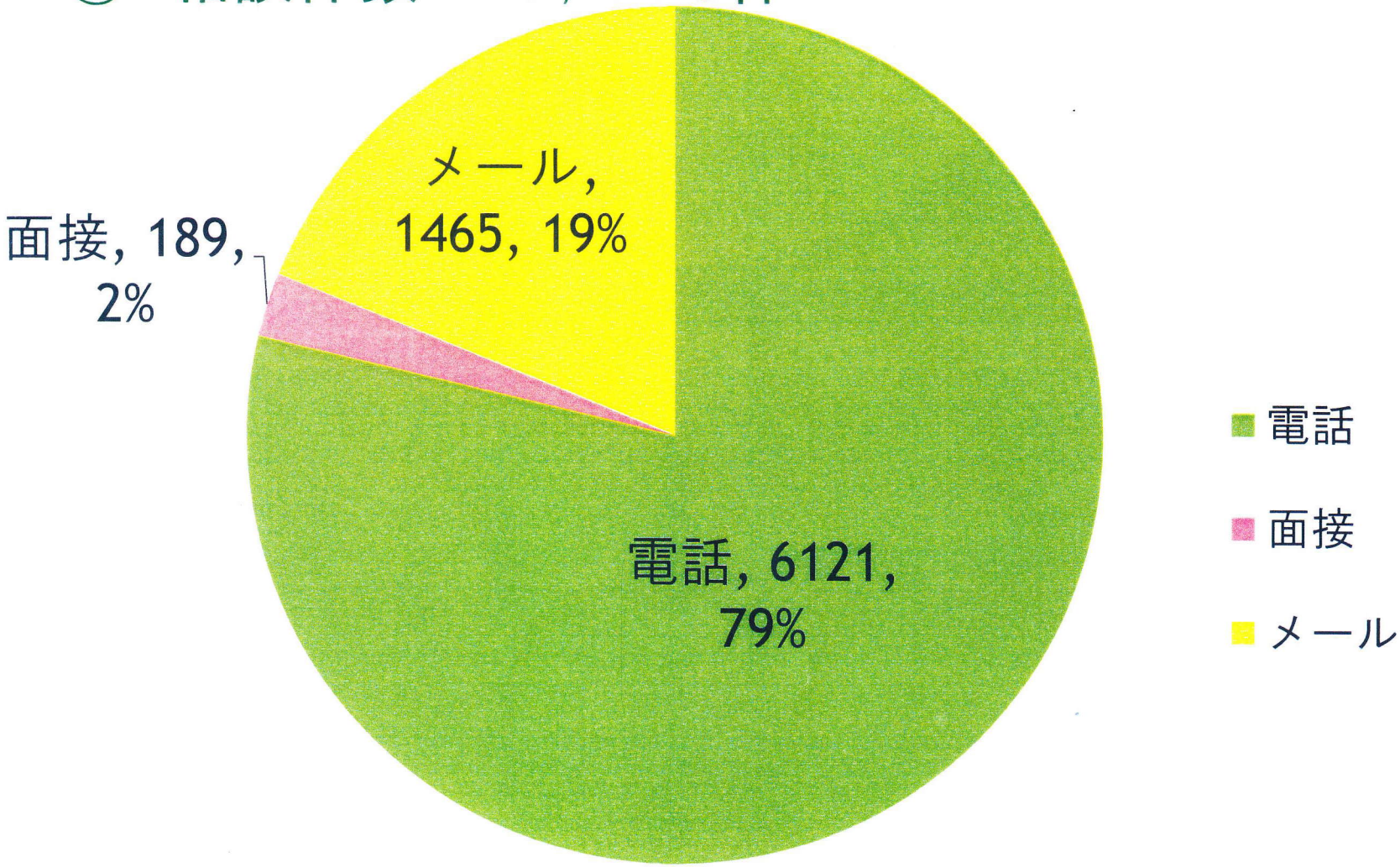
「子ども」（ドロシー・ロー・ノルト作）

2　相談センターの視点から

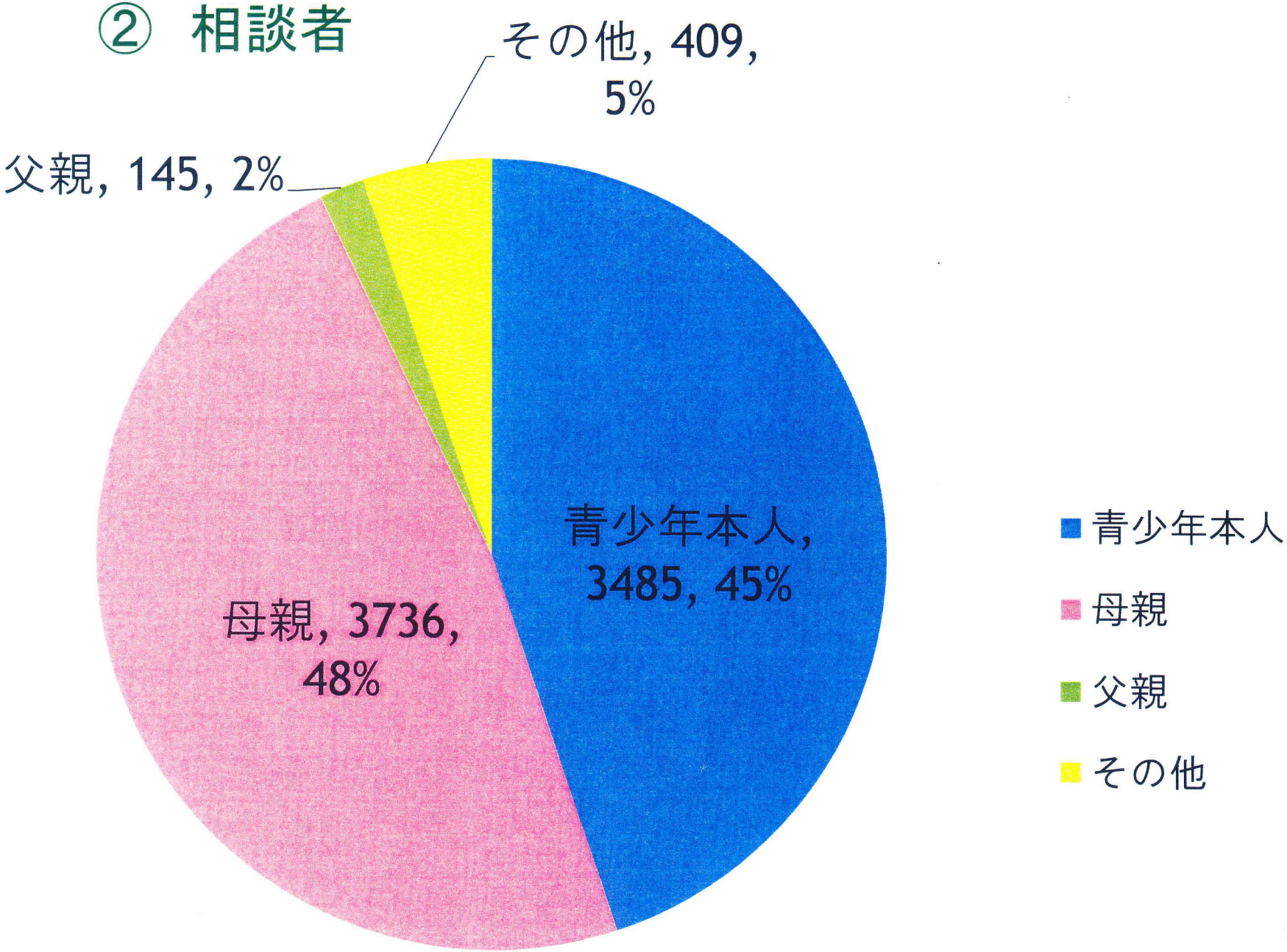
＜平成25年度の相談状況＞

①　相談件数・・・7，775件

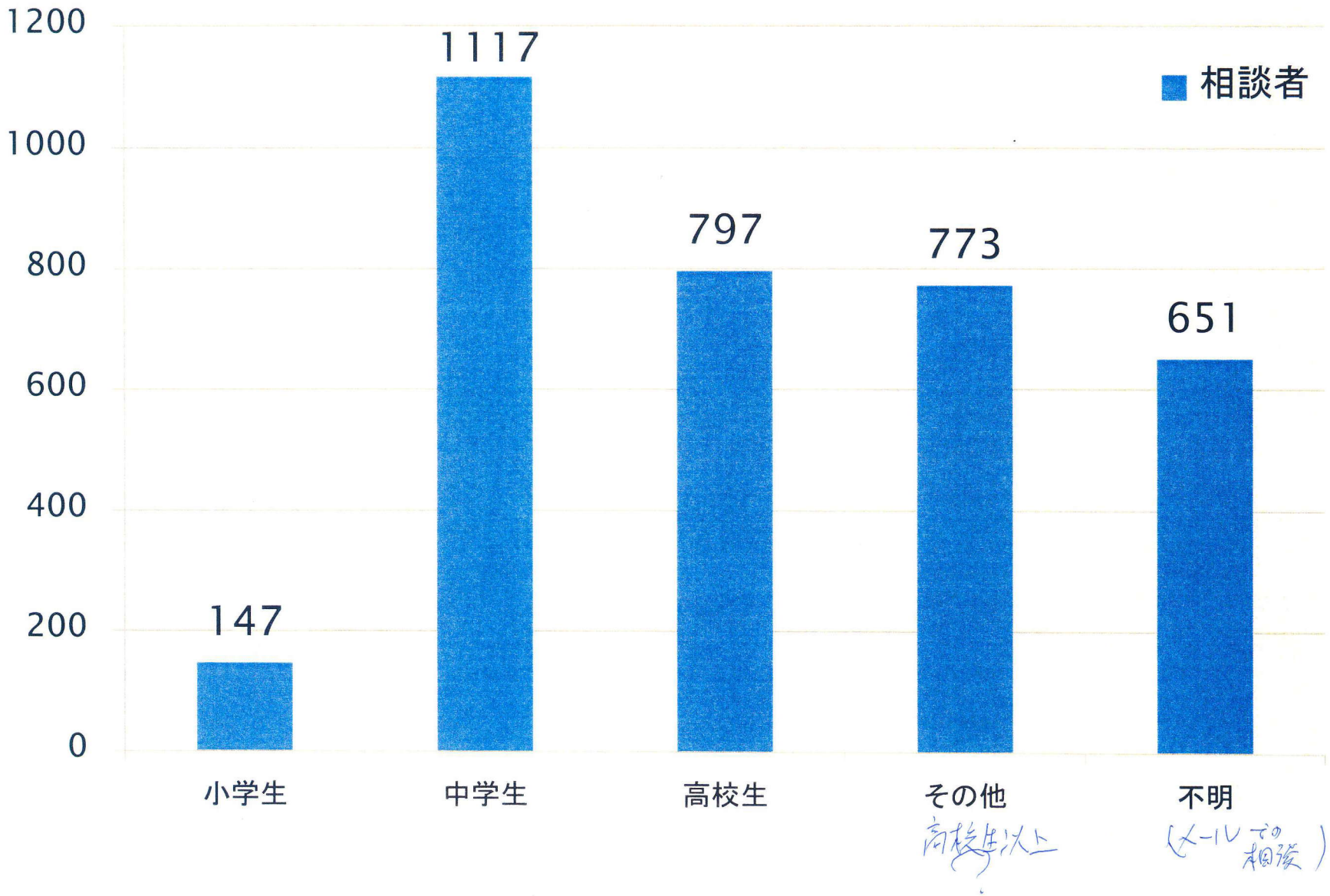
÷365＝21.3件



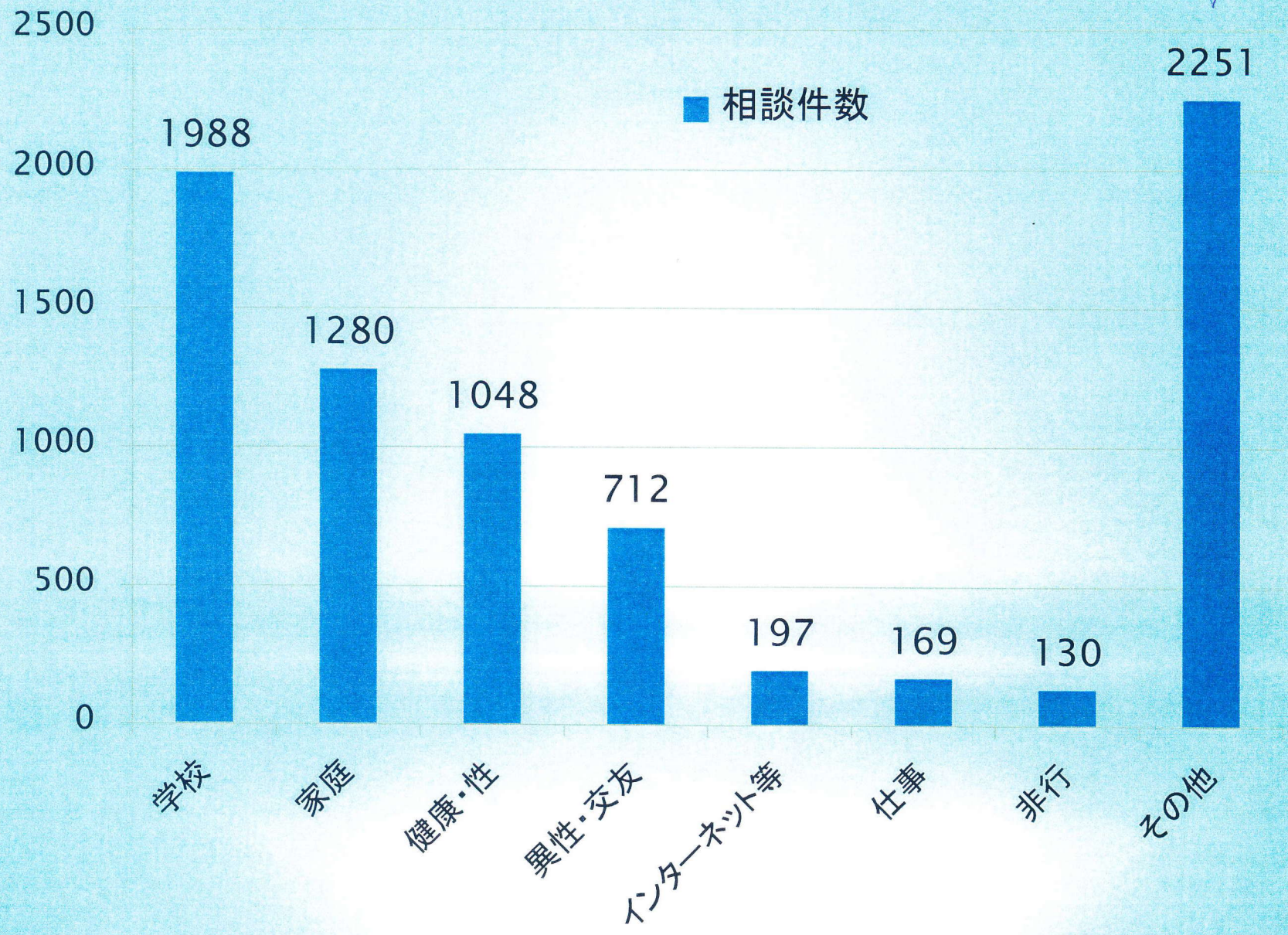
② 相談者



・ 青少年本人・・・3，485件 ： 44．8%

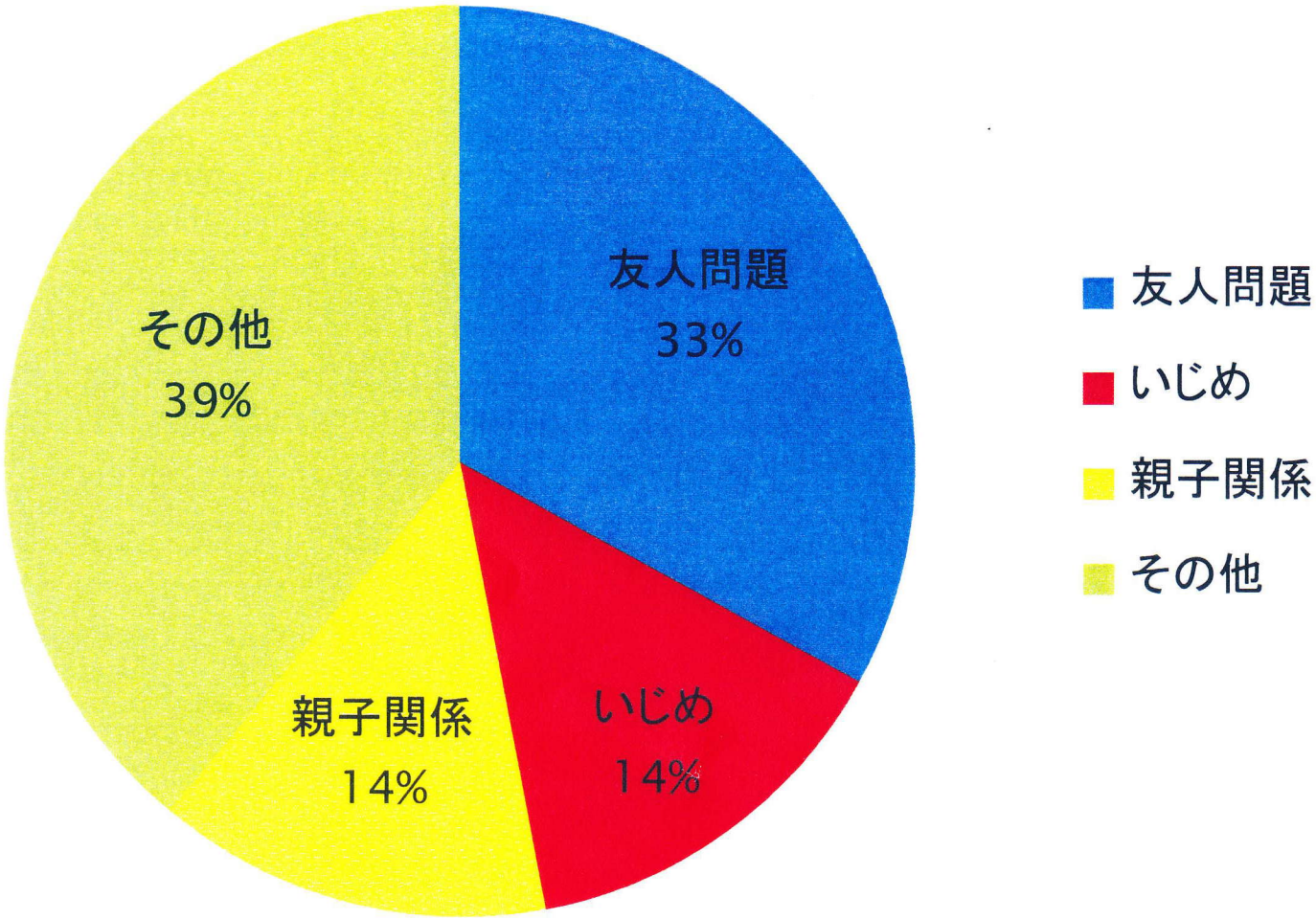


③ 相談内容

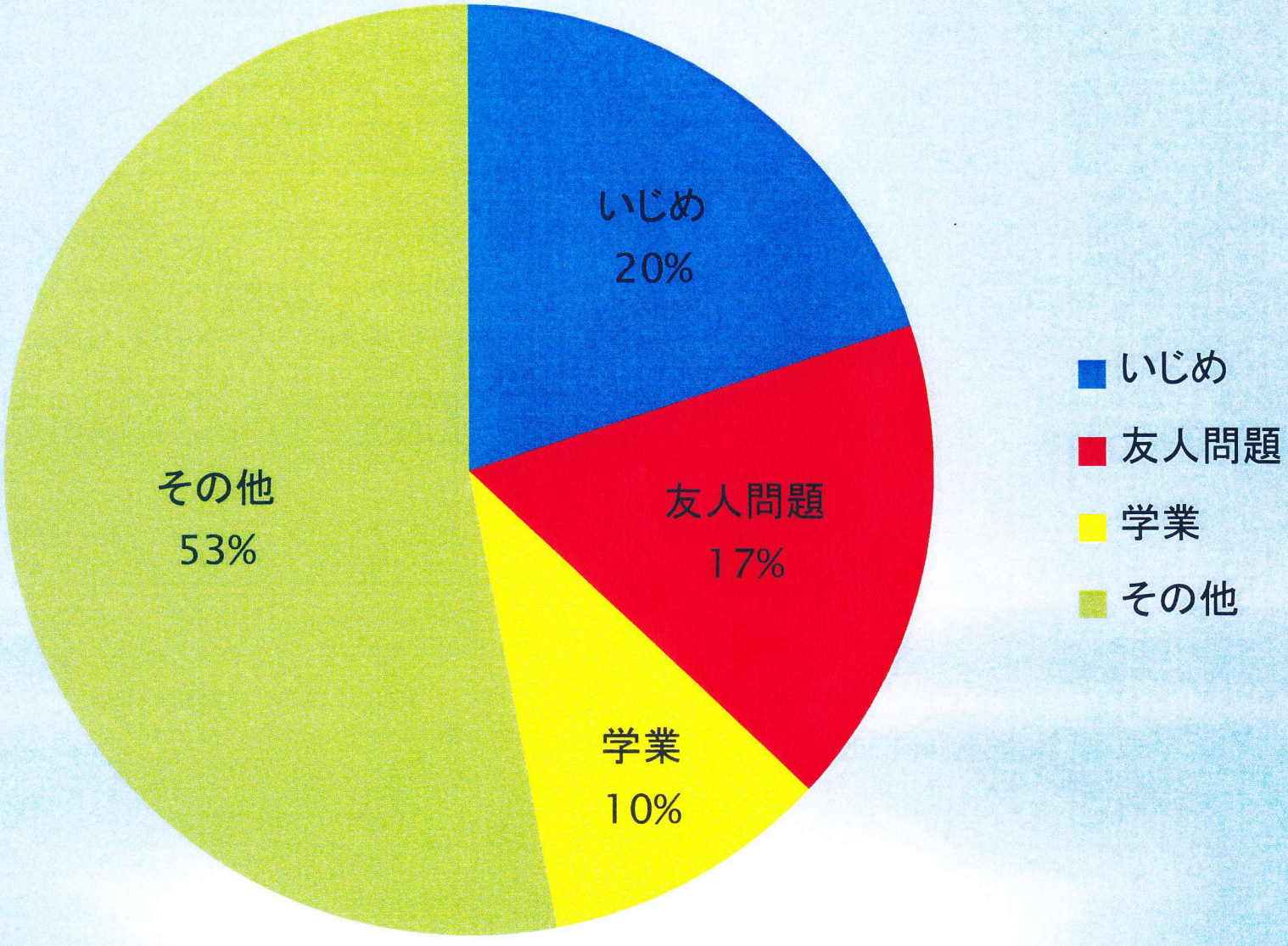

2500
2000
1500
1000
500
0
相談件数
1988
1280
1048
712
197
169
130
2251
学校
家庭
健康・性
異性・交友
インターネット等
仕事
非行
その他

④ 総合相談窓口における相談者別相談内容

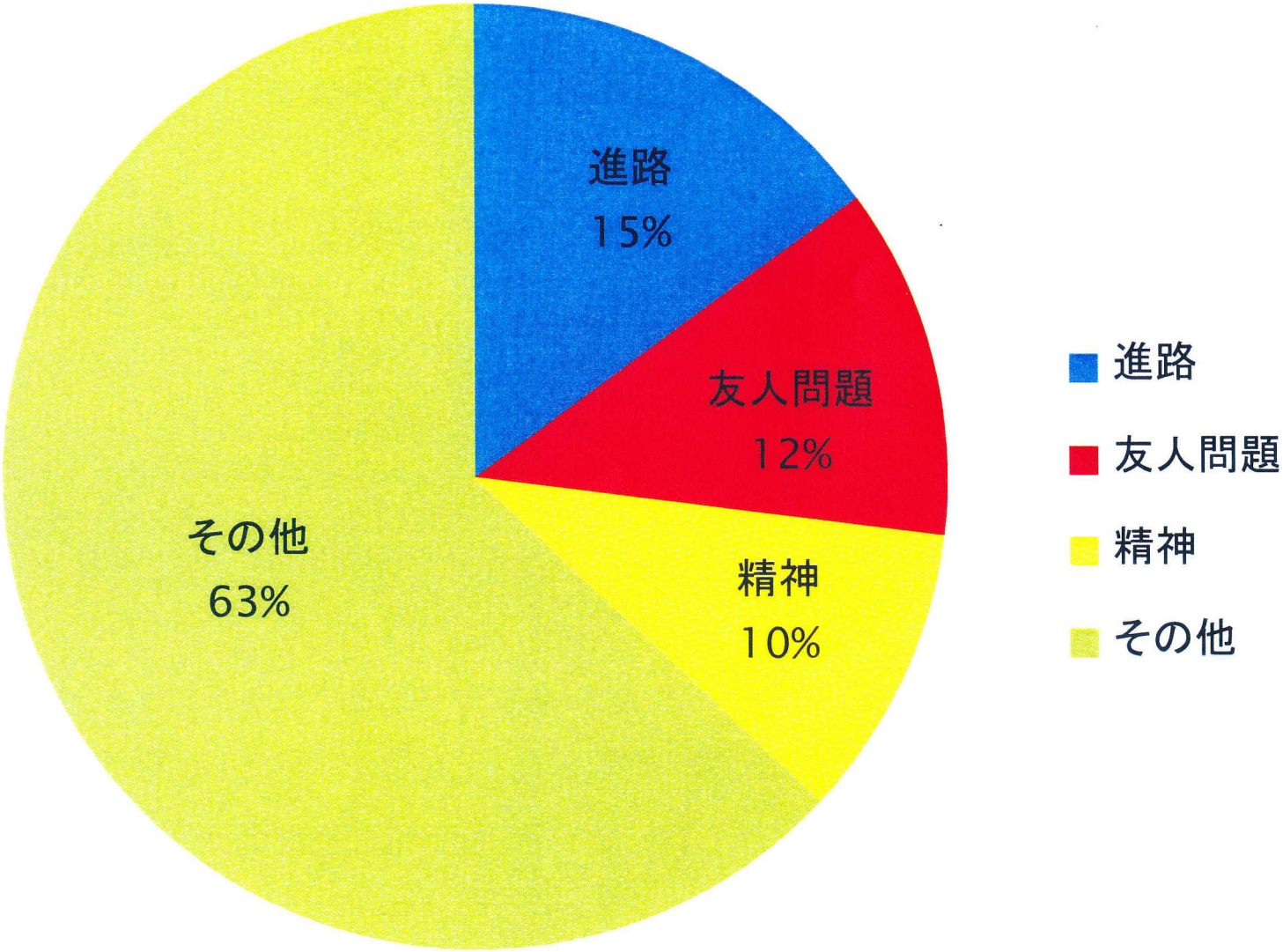
小学生



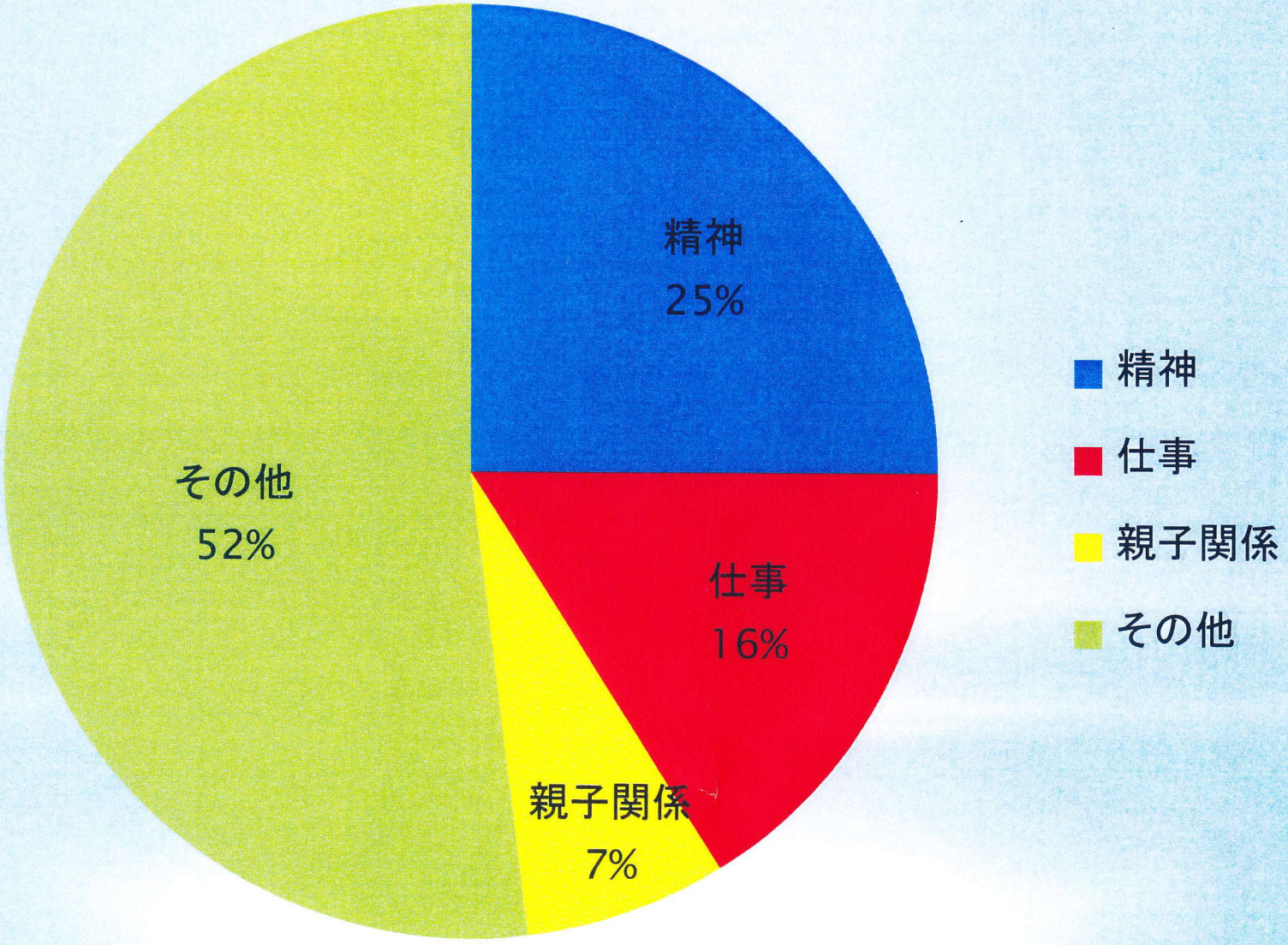
中学生



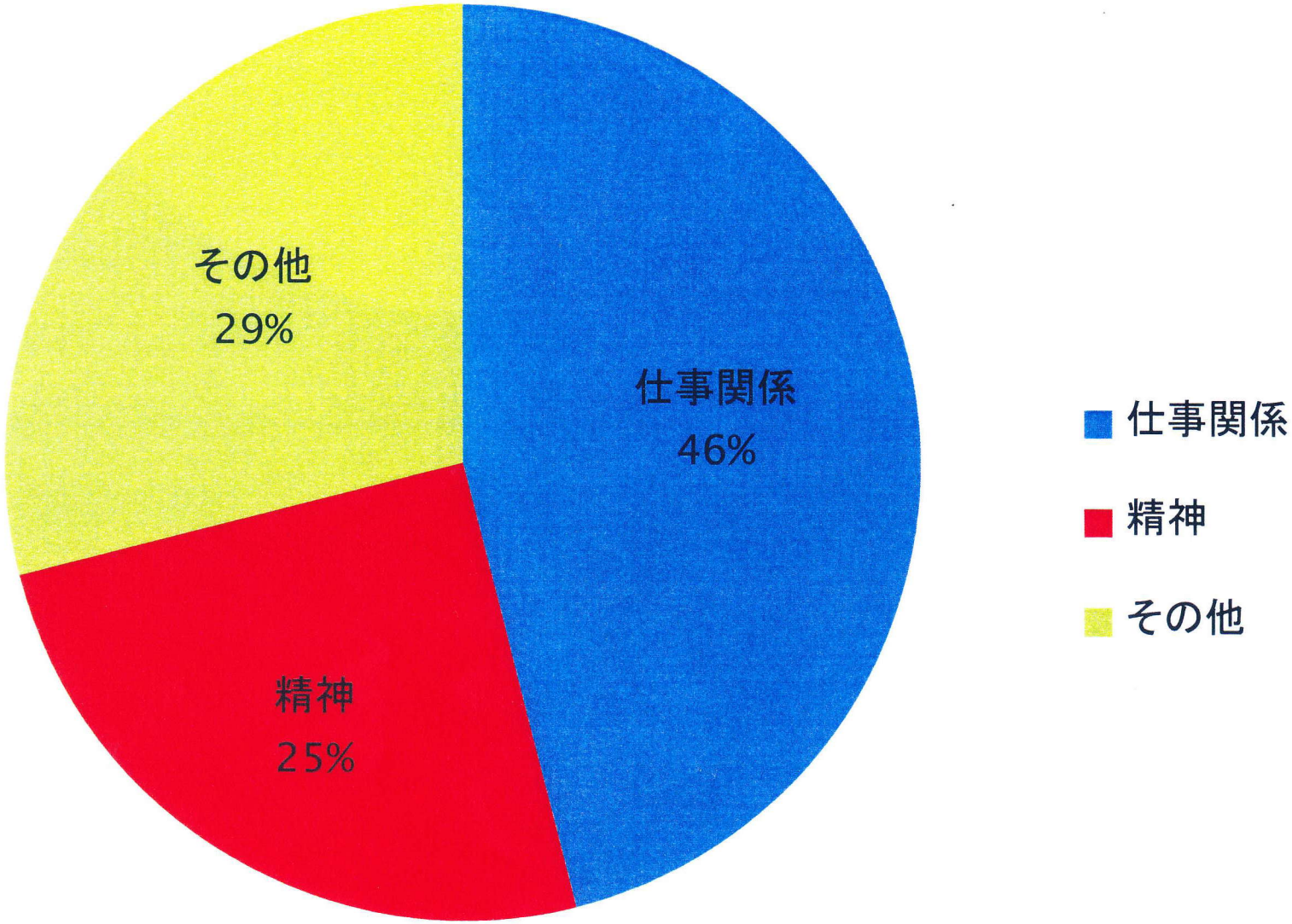
高校生



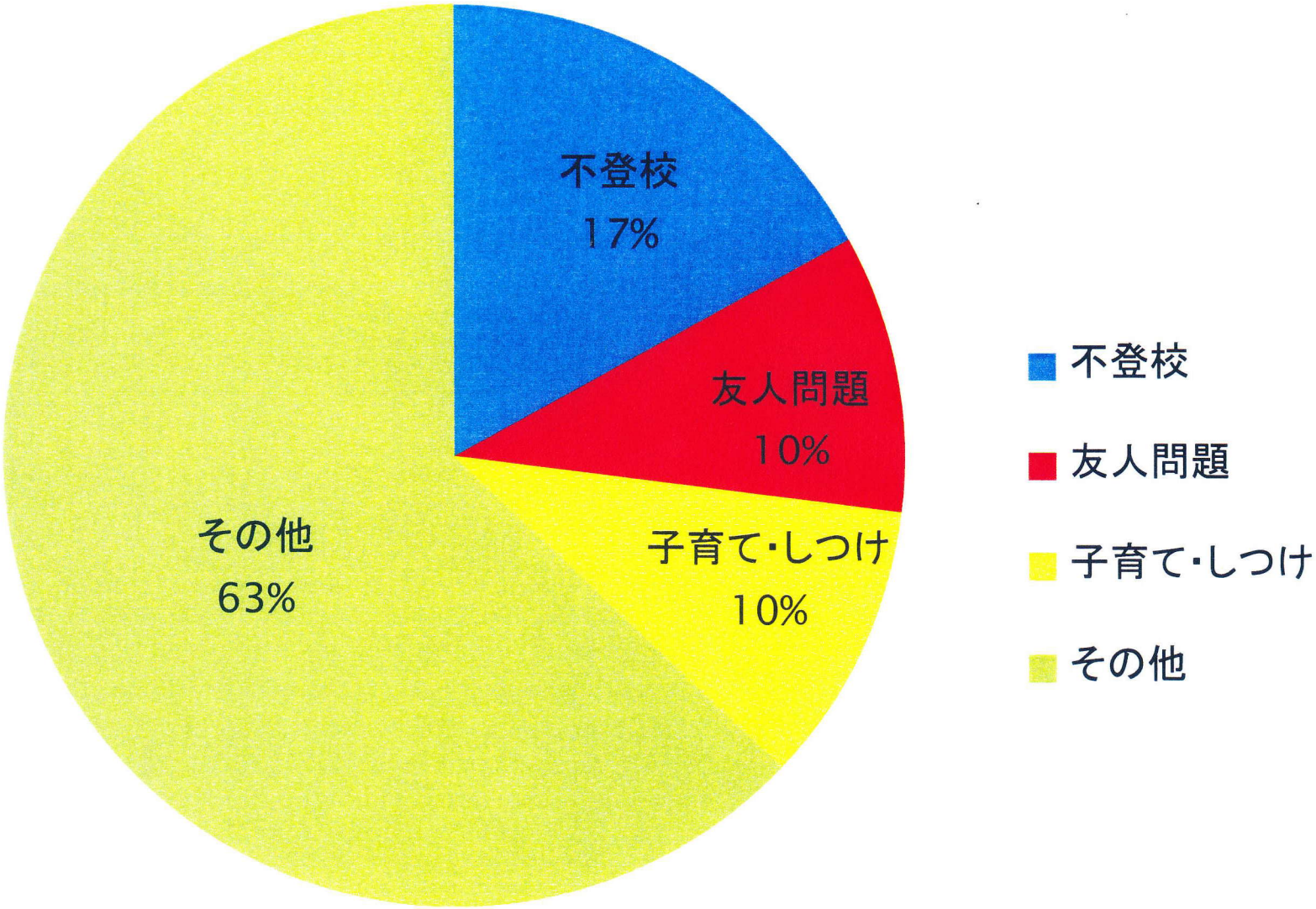
青　年（30歳未満）



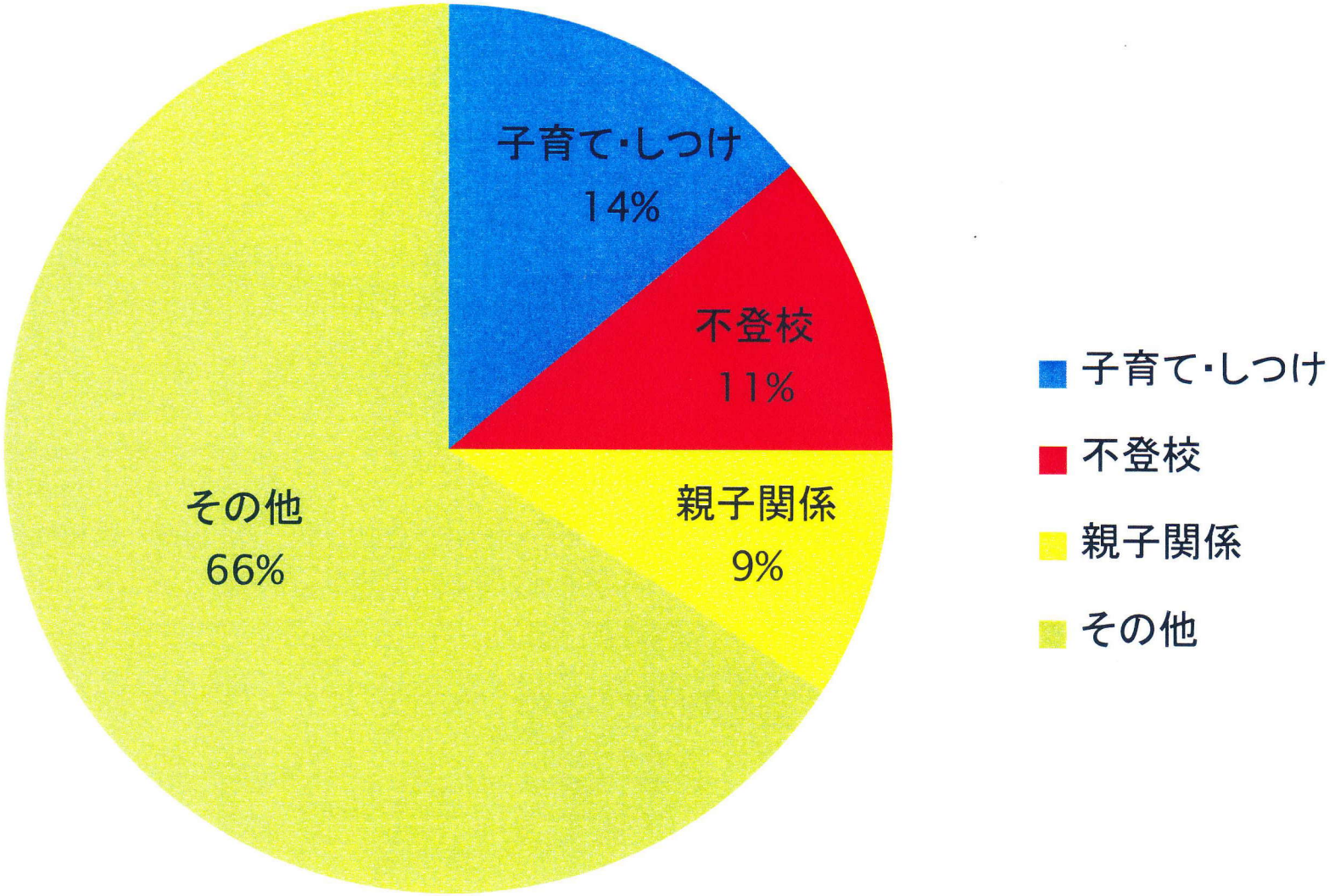
青　年（30歳以上40歳未満）



父　親

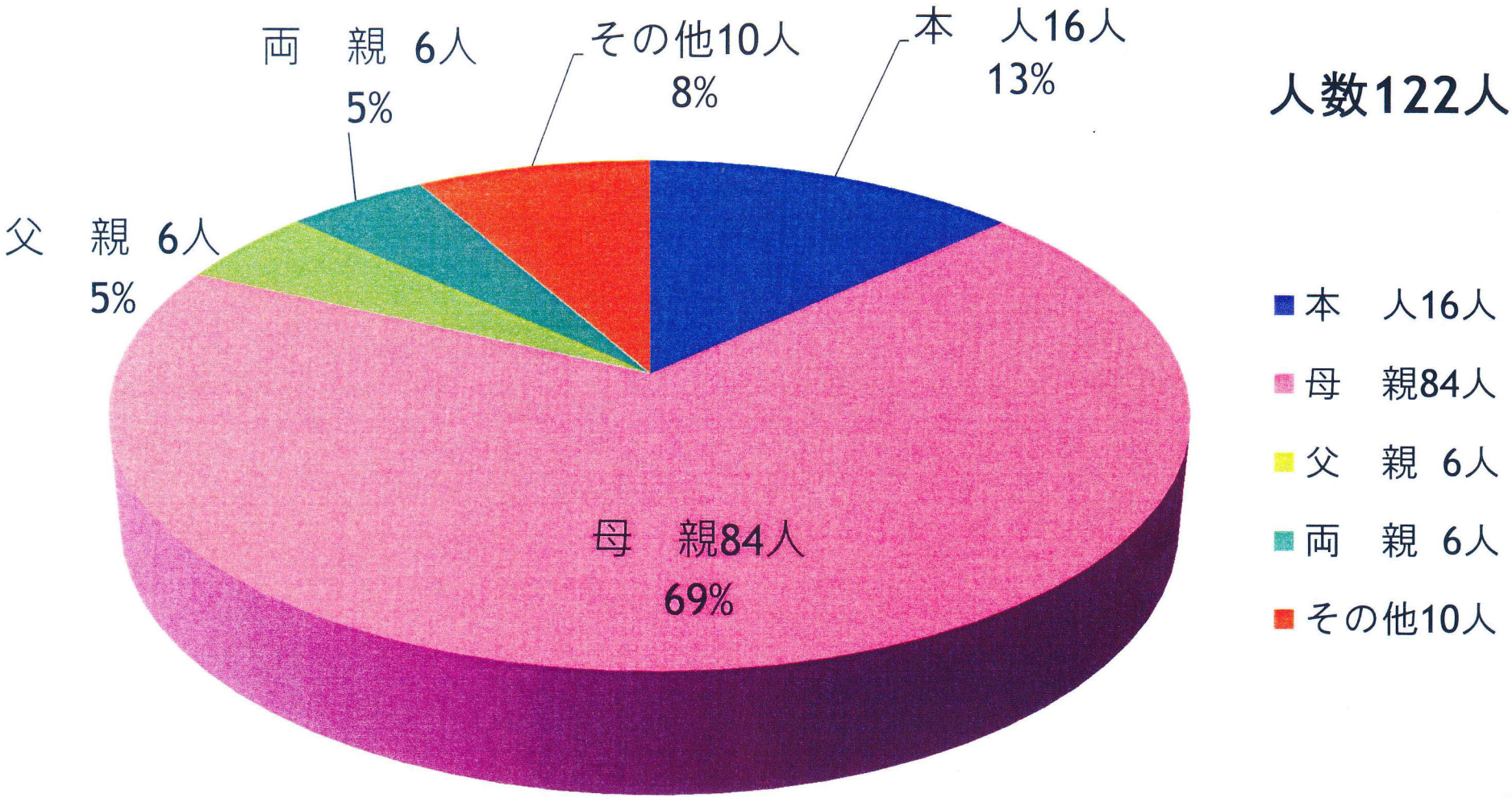


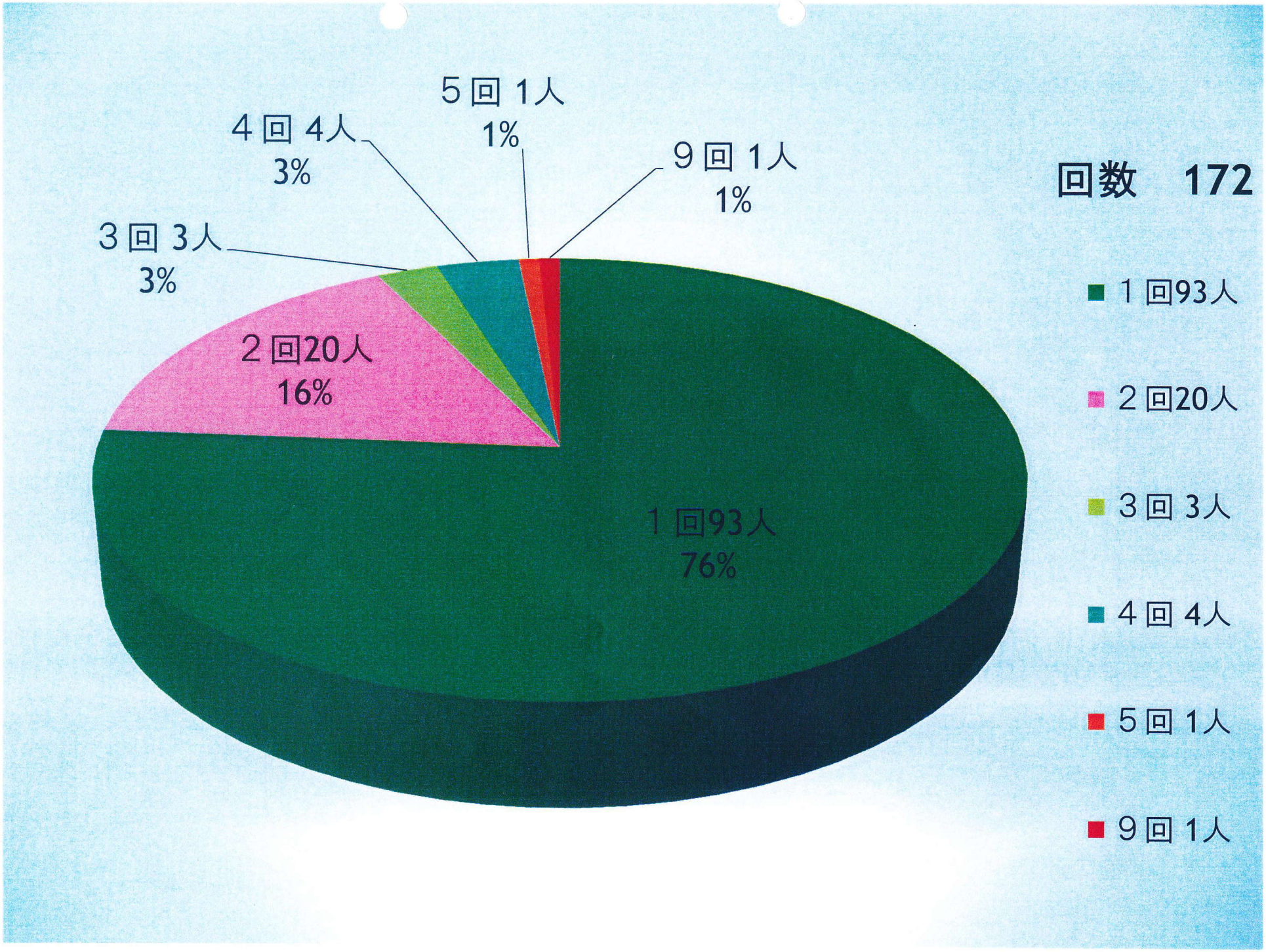
母　親



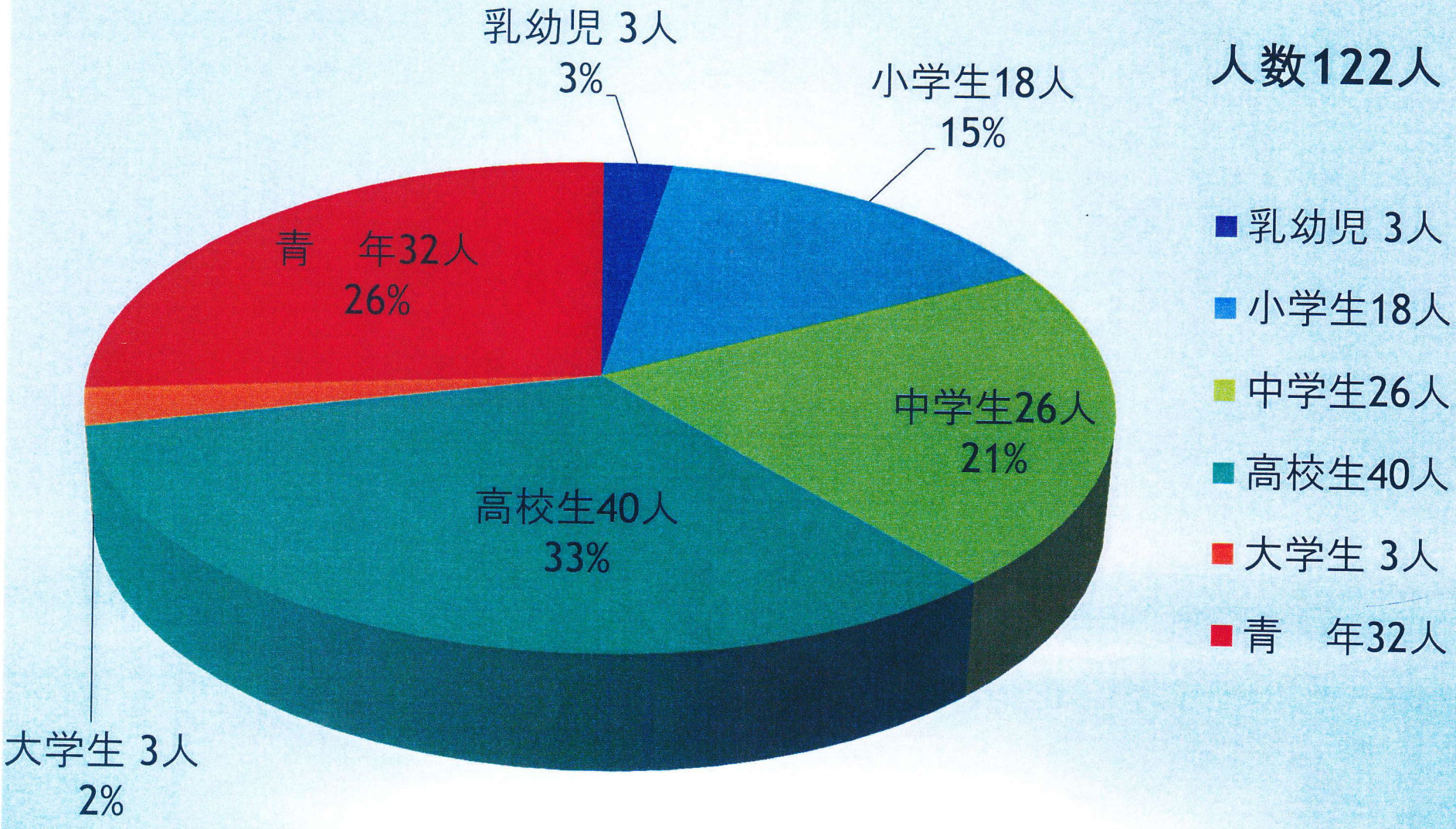
＜青少年問題アドバイザーによる相談状況＞

① 相談者

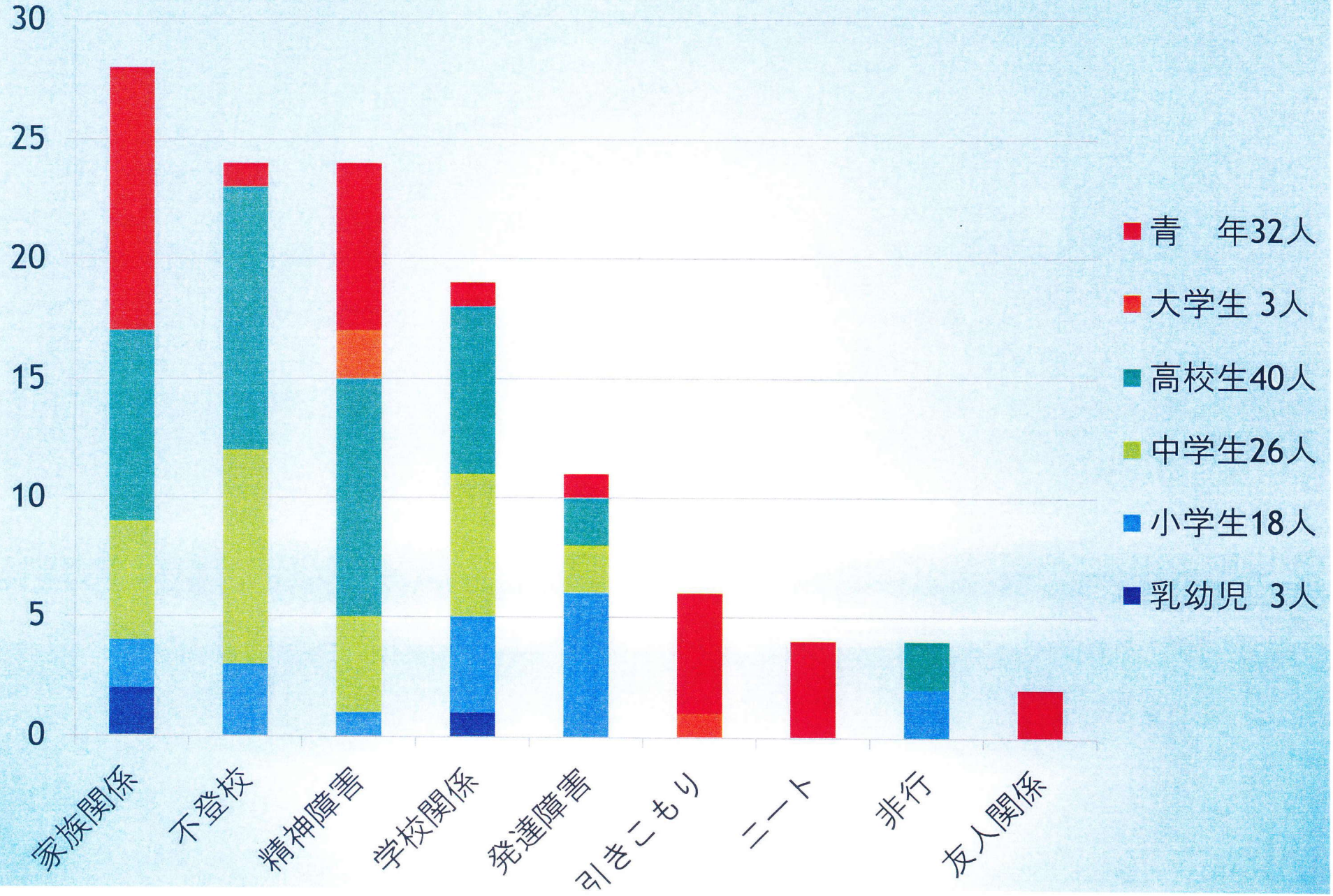



5回 1人
1%
4回 4人
3%
9回 1人
1%
3回 3人
3%
2回20人
16%
1回93人
76%
回数 172
1回93人
2回20人
3回 3人
4回 4人
5回 1人
9回 1人

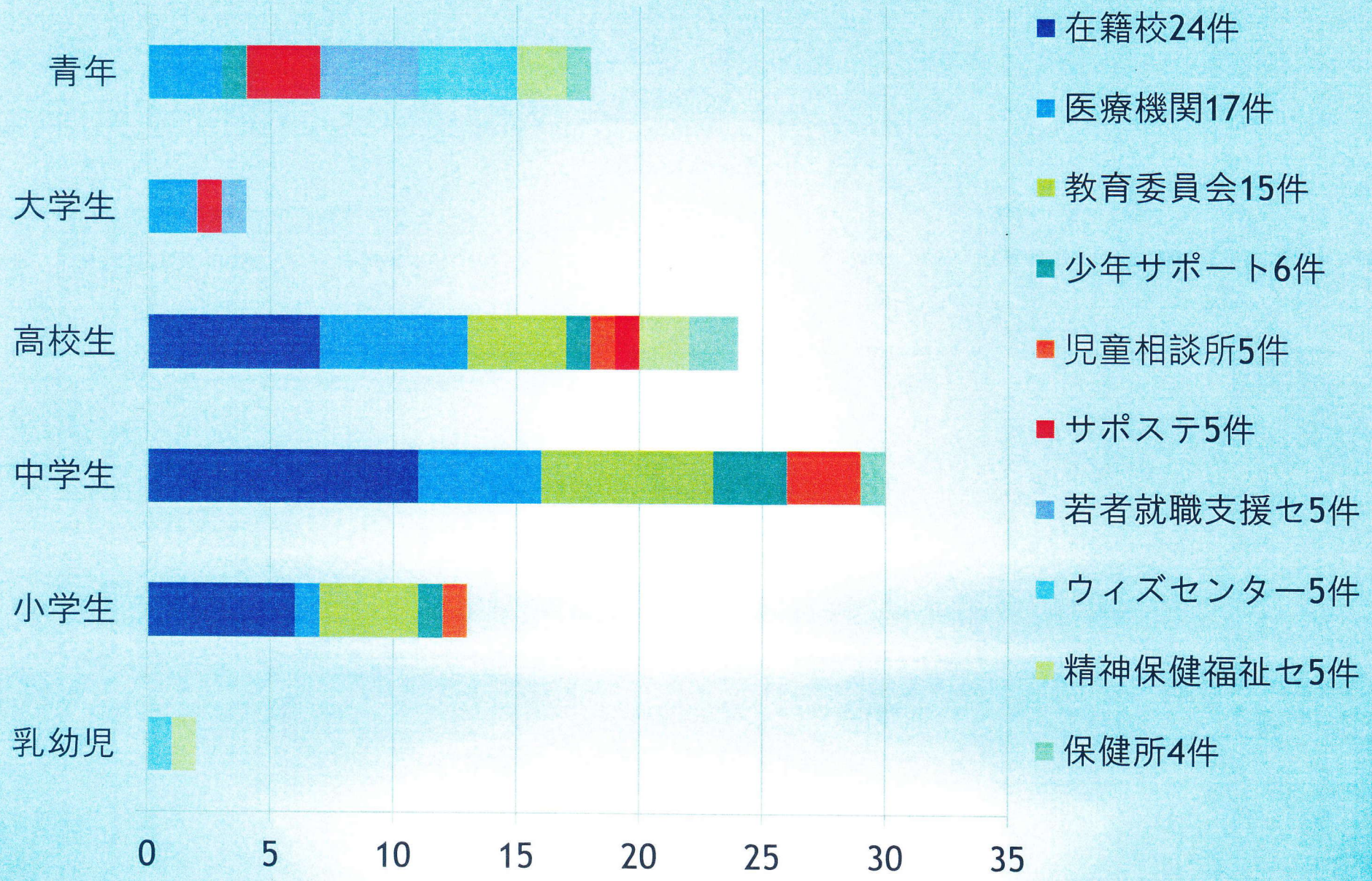
② 相談対象者


乳幼児 3人
3%
小学生18人
15%
中学生26人
21%
高校生40人
33%
大学生 3人
2%
青　年32人
26%
人数122人
乳幼児 3人
小学生18人
中学生26人
高校生40人
大学生 3人
青　年32人

③ 相談内容


30
25
20
15
10
5
0
家族関係
不登校
精神障害
学校関係
発達障害
引きこもり
ニート
非行
友人関係
青　年32人
大学生 3人
高校生40人
中学生26人
小学生18人
乳幼児 3人

④ 相談対象者の連携先（上位10機関）

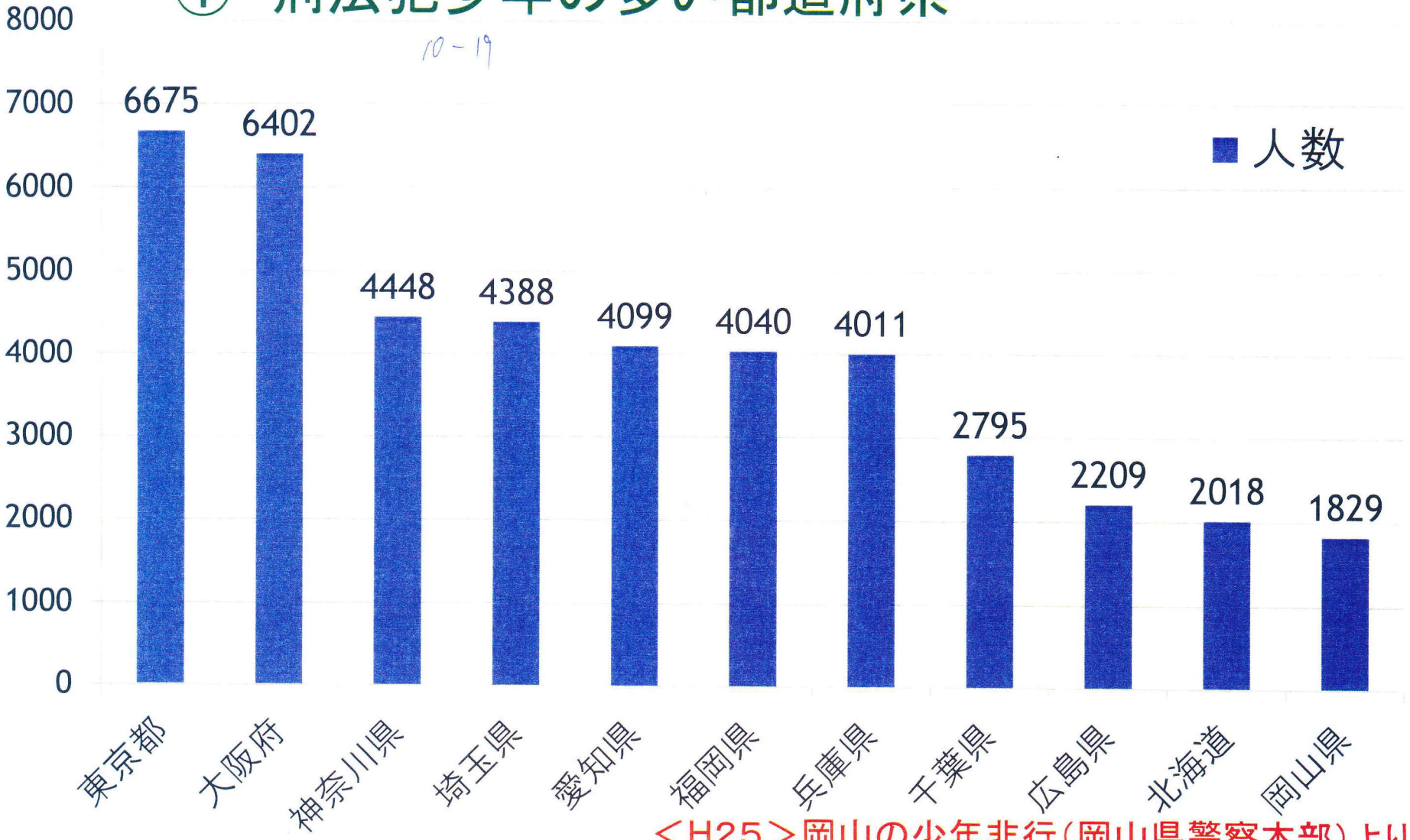


3　少年非行の実態と理解

＜平成25年の実態＞

①　刑法犯少年の多い都道府県

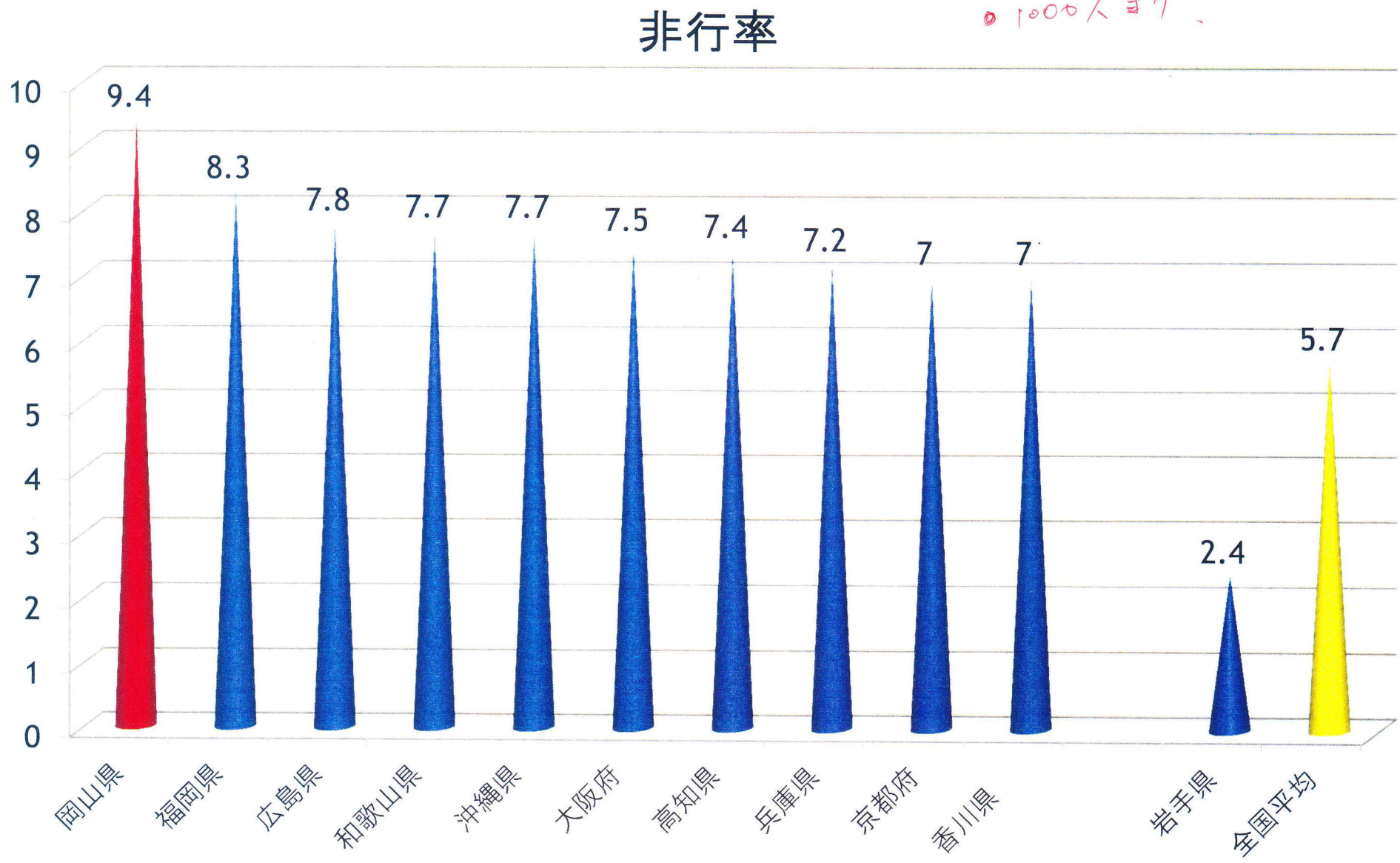
10－19



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

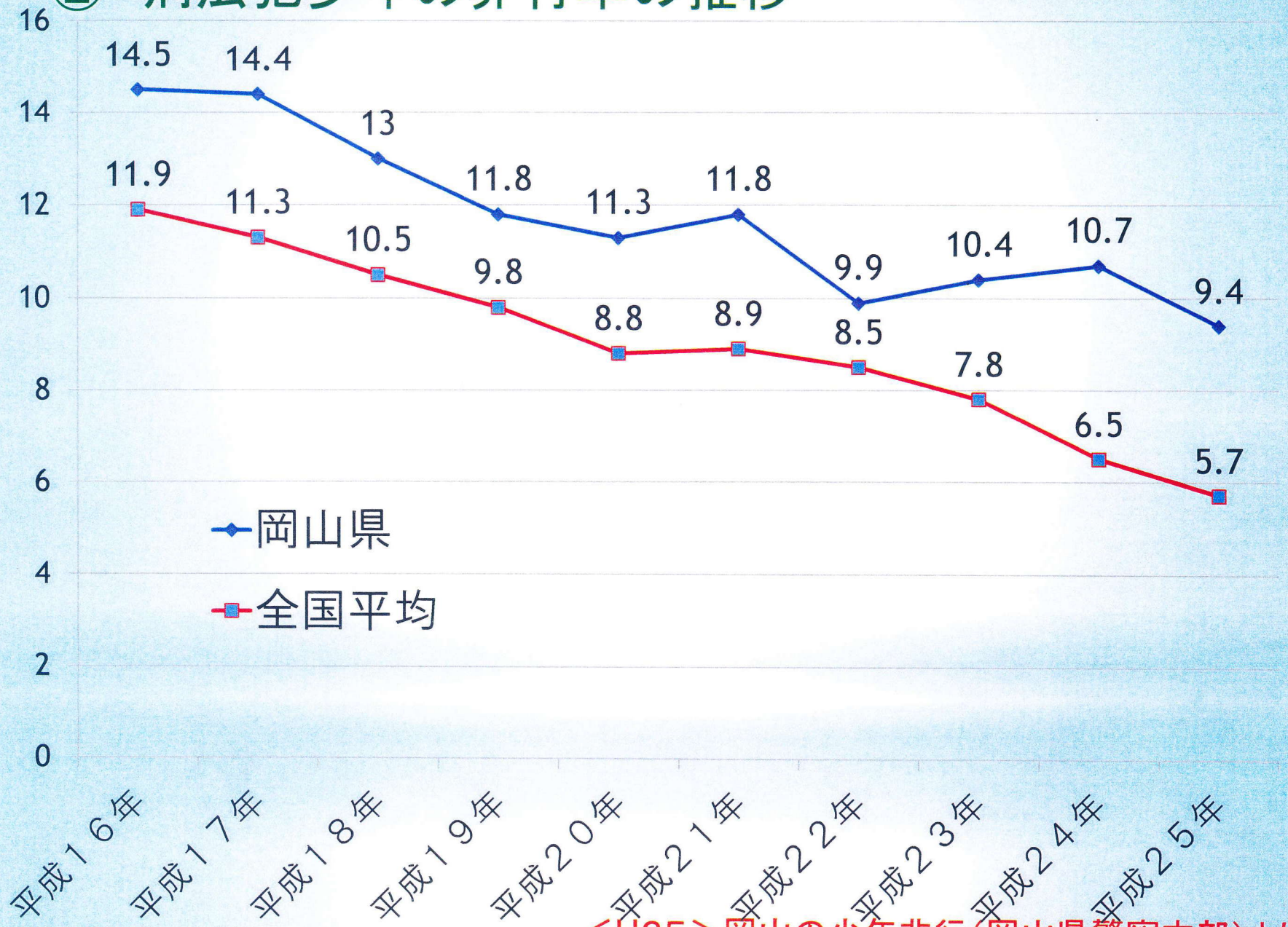
＜非行率の全国対比＞

・10才～19才まで
・1000人当り



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

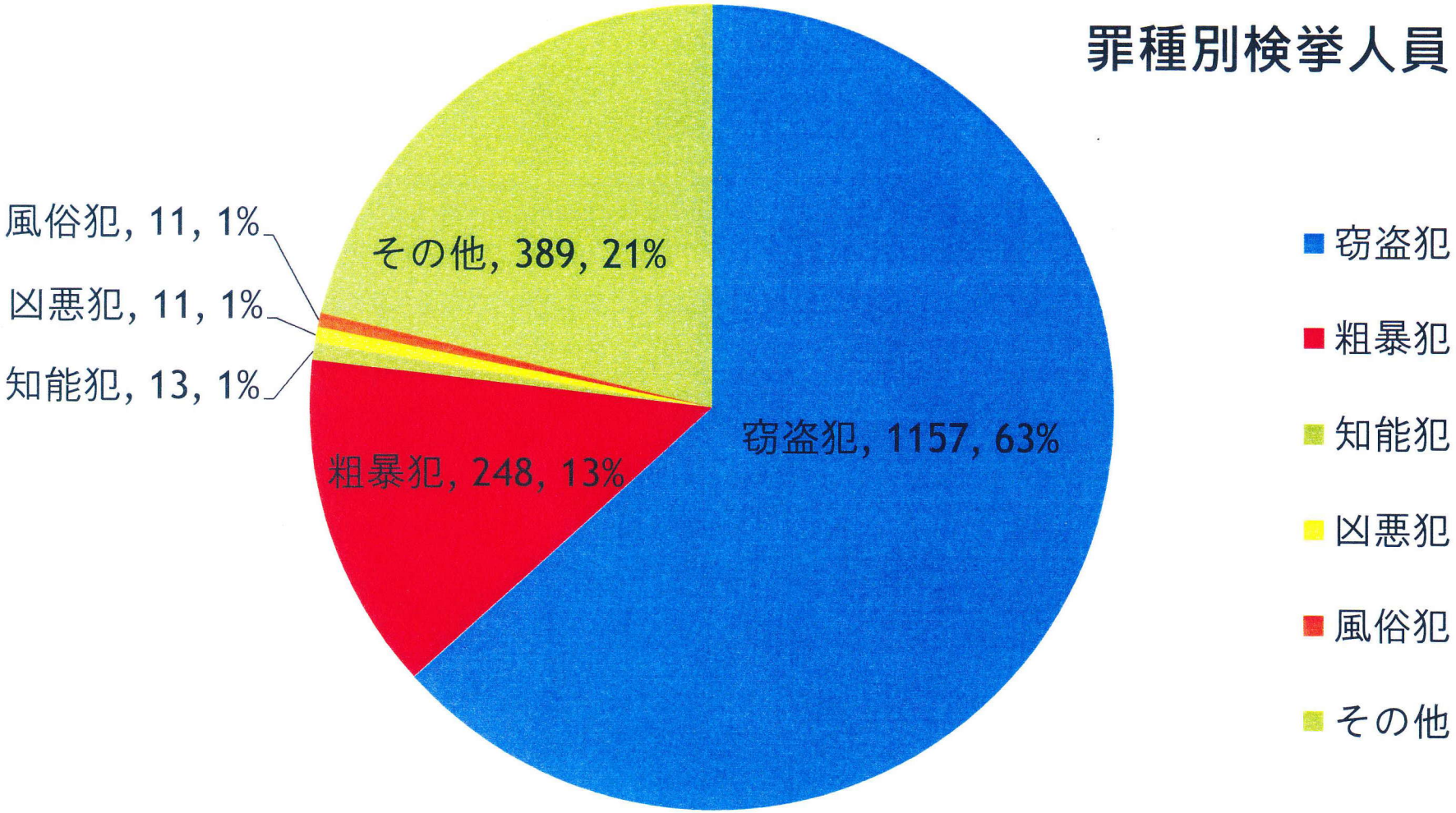
② 刑法犯少年の非行率の推移



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

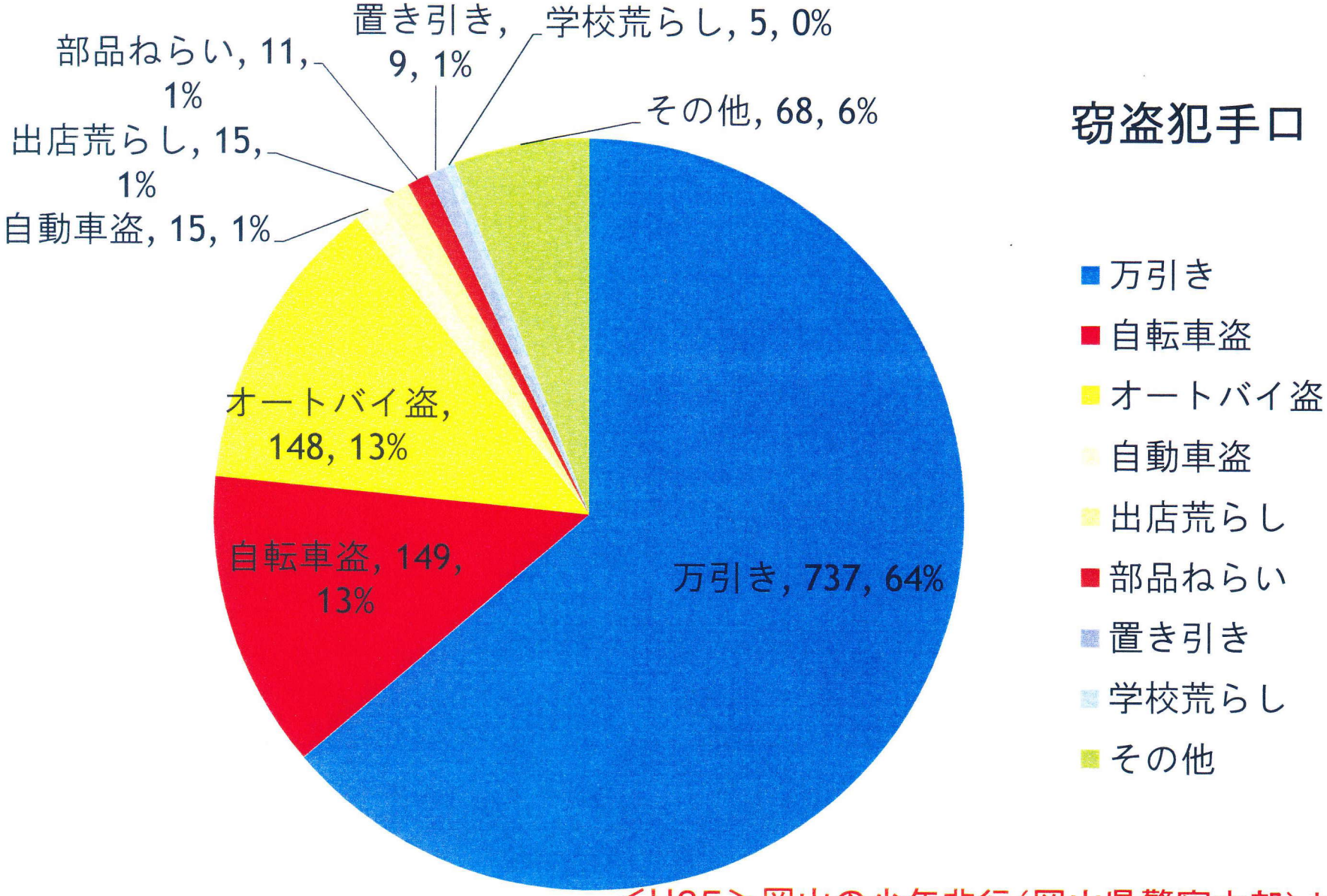
③ 刑法犯少年の罪種別

○ 罪種別では、窃盗犯が最も多く全体の63．3%を占め、
次いで 暴行・傷害・恐喝等の粗暴犯が13．6%となっている。



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

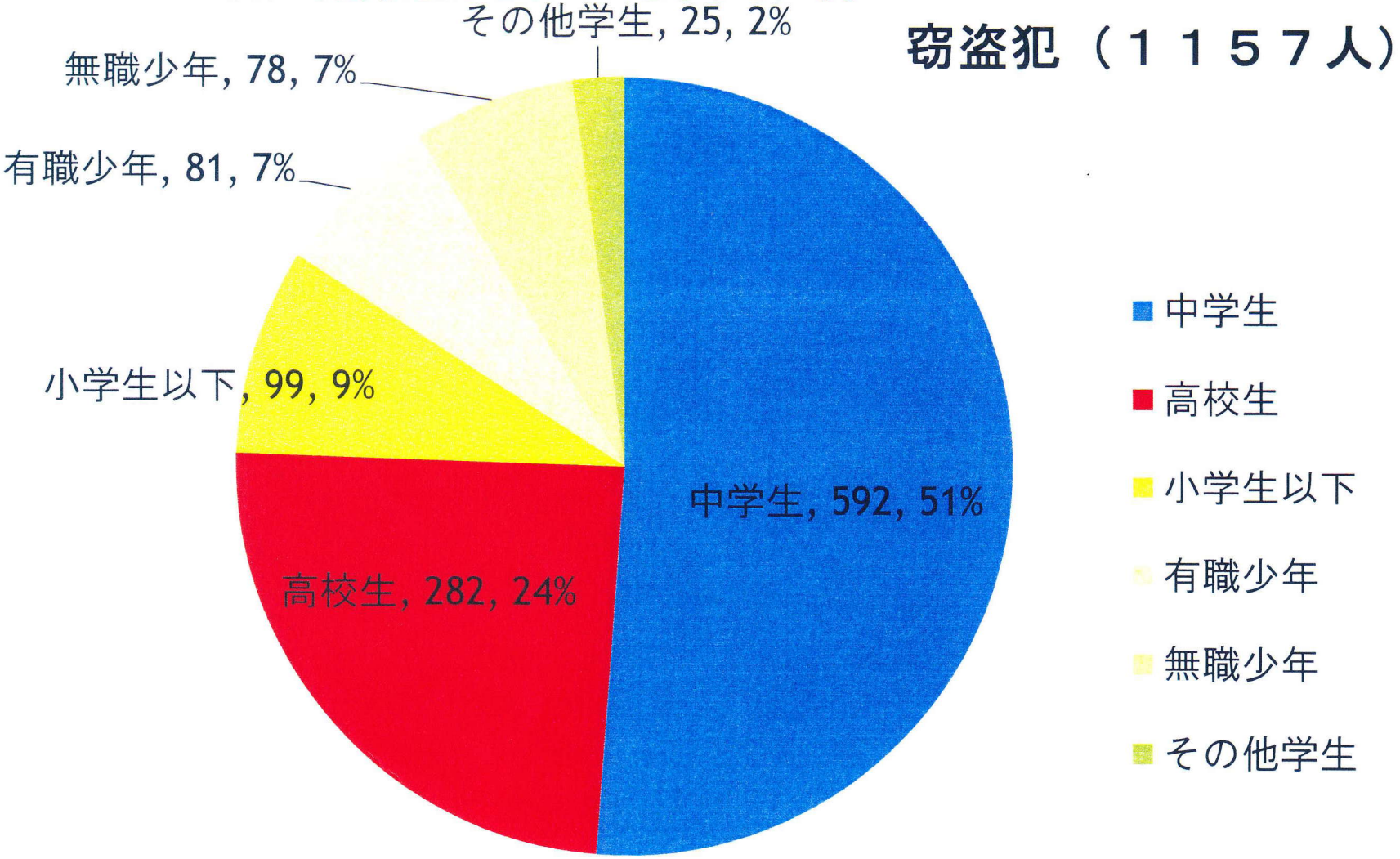
④ 窃盗犯の内容



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

⑤ 窃盗犯の学識別

○ 学識別では、中学生が最も多く全体の51．2%を占め、
次いで高校生が24．4%となっている。



＜H25＞岡山の少年非行（岡山県警察本部）より

４「子育て」で大切にしたいこと

① 家庭で気をつけたいこと

- 口うるさく注意しない
- 一歩下がって余裕をもって見守る
- 先取りをしない
- 責任転嫁をしない
- 無視をしない

② 子どもの行動を三つに分ける

- 許せない行動
- 減らしたい行動
- 増やしたい行動

③ 体験の大切さ

◍「道徳性が育つような体験」

体験・経験を通じて、道徳性が育つような実践を

学校・家庭・地域が連携し、実施しよう。

ものをつくる体験　　人とふれあう体験

社会貢献活動体験　　様々な感動体験

◍「感動体験が脳を育てる」

脳神経科学者、小泉英明氏（日立のフェロー）

「学力の向上」には「学習意欲の向上」が何よりも重要

5　学校力の向上について

①　教師力

- 授業力
- 児童・生徒指導力
- 人権に配慮した教育指導
- コンプライアンス

②　児童・生徒力

- 学力
- 人間力
- クラブ・部活動
- 児童・生徒会活動
- 基本的生活習慣
- コミュニケーション力

③ 地域力

- PTA
- 保幼小中連携
- 安全・安心ネットワーク
- ボランティア団体

④ 環境力

- 学校内外の施設設備
- 通学路
- 自然環境
- 文化財
- 教師の人間関係
- 職場の雰囲気

⑤ 情報発信力

- 学校ホームページ
- 学校・学年・学級通信
- オープンスクール

⑥ 危機管理力

- スクール・コンプライアンス
  - ・服務上の問題
  - ・教育指導上の問題
  - ・生徒指導上の問題
- 対応能力
- 問題意識